T&D保険グループ

平成２４年２月１０日

各　位

株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス
（コード番号 8795　東証・大証第一部）
太陽生命保険株式会社
大同生命保険株式会社
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社

平成２４年３月期第３四半期決算のお知らせ

Ｔ＆Ｄ保険グループ（Ｔ＆Ｄホールディングス、太陽生命、大同生命、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命）の平成２４年３月期第３四半期（平成２３年４月１日～平成２３年１２月３１日）の決算について、以下のとおりお知らせいたします。

契約業績（生命保険会社３社合算：個人保険・個人年金保険）

○**新契約高**は、５兆１，５６４億円、前年同期から２．３％の減少。
○**解約失効高**は、３兆２，６８９億円、前年同期から６．１％の減少。
○**保有契約高**は、５８兆５，５３６億円、前年度末から０．９％の増加。

損益関係（Ｔ＆Ｄホールディングス連結）

○**経常収益**は、１兆５，７８２億円、前年同期から２．８％の増加。
　うち**保険料等収入**は、１兆２，５３３億円、前年同期から１５．９％の増加。
○**経常利益**は、８９０億円、前年同期から１．９％の減少。
○**四半期純利益**は、１２１億円、前年同期から６１．３％の減少。

通期業績予想（Ｔ＆Ｄホールディングス連結）

○平成２４年１月３０日に、平成２３年５月１９日公表の平成２４年３月期通期業績予想を修正しております。（詳しくは７ページをご覧ください。）

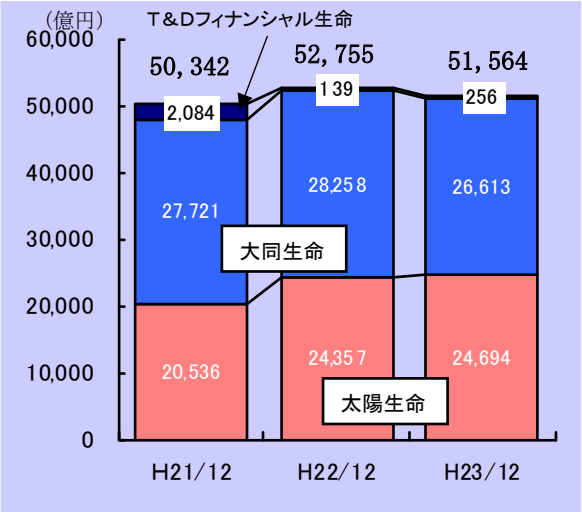
以　上

【お問合せ先】

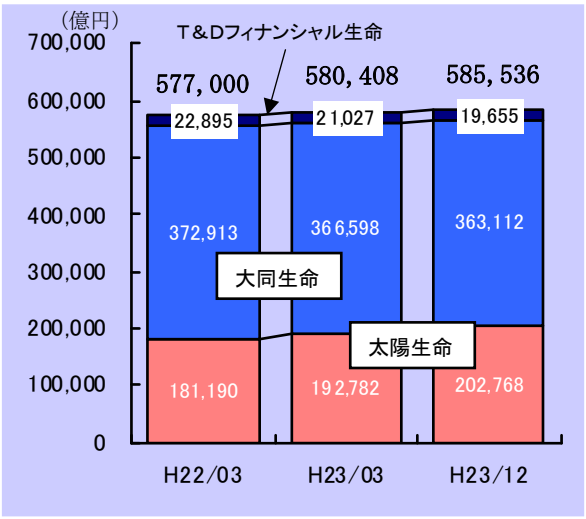
株式会社Ｔ＆Ｄホールディングス　広報部　松尾　TEL 03-3434-9181
太陽生命保険株式会社　広報課　家徳　TEL 03-3434-5257
大同生命保険株式会社　広報課　前田　TEL 03-3434-9190
Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命保険株式会社　広報課　進藤　TEL 03-3434-8840

［契約業績（個人保険・個人年金保険）］

○新契約高の推移（３社単純合算）



○保有契約高の推移（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比
新契約高	51,564	1,190 減 (2.3%減)	24,694	337 増 (1.4%増)	26,613	1,645 減 (5.8%減)	256	117 増 (84.4%増)
解約失効高	32,689	2,113 減 (6.1%減)	9,073	593 増 (7.0%増)	23,007	2,543 減 (10.0%減)	608	162 減 (21.1%減)
（解約失効率）			(4.71%)	(0.03ポイント上昇)	(6.28%)	(0.57ポイント低下)	(2.89%)	(0.48ポイント低下)
新契約年換算保険料	981	162 増 (19.8%増)	477	161 増 (51.0%増)	487	6 減 (1.3%減)	17	7 増 (82.0%増)
うち医療保障・生前給付保障等	107	22 増 (26.4%増)	53	4 減 (7.6%減)	53	26 増 (100.4%増)	0	0 増 (－)

（注）１．新契約高には転換による純増加高を含んでおります。
２．解約失効率は、年換算しておりません。

（単位：億円）

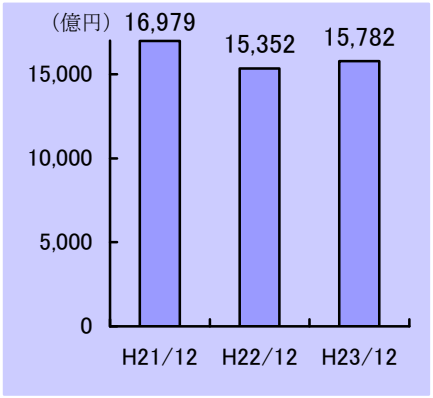
	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第３四半期末	前年度末 比較増減	当第３四半期末	前年度末 比較増減	当第３四半期末	前年度末 比較増減	当第３四半期末	前年度末 比較増減
保有契約高	585,536	5,128 増 (0.9%増)	202,768	9,986 増 (5.2%増)	363,112	3,486 減 (1.0%減)	19,655	1,372 減 (6.5%減)
保有契約年換算保険料	13,991	17 増 (0.1%増)	6,032	77 増 (1.3%増)	6,235	19 減 (0.3%減)	1,723	40 減 (2.3%減)
うち医療保障・生前給付保障等	1,617	8 減 (0.5%減)	1,059	23 減 (2.2%減)	515	17 増 (3.5%増)	42	3 減 (6.9%減)

■　３社単純合算
- **新契約高**は、５兆１，５６４億円、前年同期から２．３％の減少。
これは、大同生命で減少したため。
- **解約失効高**は、３兆２，６８９億円、前年同期から６．１％の減少。
これは主に、大同生命で減少したため。
- **保有契約高**は、５８兆５，５３６億円、前年度末から０．９％の増加。
これは、太陽生命で増加したため。

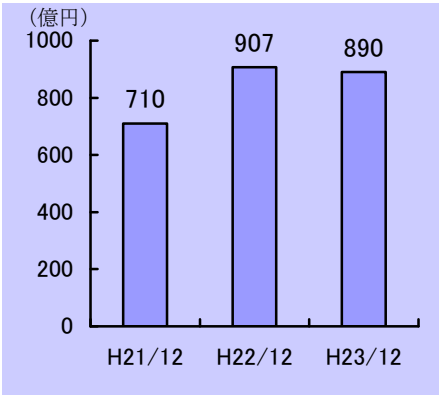
■　各社の状況
- **太陽生命の新契約高**は、２兆４，６９４億円、前年同期から１．４％の増加。
これは主に、主力の「保険組曲Ｂｅｓｔ」の主契約の１つである「生活応援保険」の販売が好調であったことに加え、個人年金保険の販売が好調であったため。
- **大同生命の新契約高**は、２兆６，６１３億円、前年同期から５．８％の減少。
なお、主力商品の一つである「無配当重大疾病保障保険（Ｊタイプ）」の重大疾病保険金額を加算した金額でみた場合、新契約高は、２兆８，８１４億円、前年同期から０．１％の増加。保有契約高は、３６兆６，１８７億円、前年度末から０．４％の減少。
※「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、新契約高・保有契約高には計上していません。
- **Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の新契約高**は、２５６億円、前年同期から８４．４％の増加。

［損益関係］

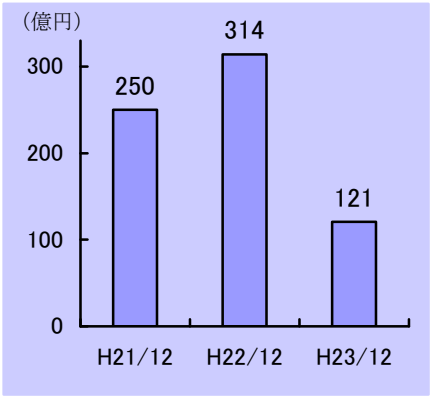
○経常収益（連結）



○経常利益（連結）



○四半期純利益（連結）



（単位：億円）

	Ｔ＆Ｄホールディングス連結		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比
経常収益	15,782	430 増 (2.8%増)	8,407	1,508 増 (21.9%増)	7,343	92 減 (1.2%減)	1,066	172 増 (19.4%増)
うち保険料等収入	12,533	1,720 増 (15.9%増)	6,785	1,608 増 (31.1%増)	5,373	10 増 (0.2%増)	367	100 増 (37.5%増)
うち資産運用収益	2,589	241 増 (10.3%増)	1,491	196 増 (15.1%増)	988	34 減 (3.4%減)	169	50 増 (42.6%増)
うちその他経常収益	659	1,532 減 (69.9%減)	129	295 減 (69.6%減)	980	68 減 (6.5%減)	529	22 増 (4.4%増)
経常費用	14,892	447 増 (3.1%増)	7,905	1,418 増 (21.9%増)	6,884	35 減 (0.5%減)	1,148	211 増 (22.6%増)
うち保険金等支払金	11,520	59 減 (0.5%減)	5,314	34 増 (0.6%増)	5,481	165 減 (2.9%減)	722	70 増 (10.8%増)
うち資産運用費用	1,271	437 増 (52.4%増)	451	148 増 (49.2%増)	512	118 増 (29.9%増)	355	144 増 (68.6%増)
経常利益（△損失）	890	17 減 (1.9%減)	501	89 増 (21.7%増)	458	56 減 (11.0%減)	△82	38 減 (87.9%増)
特別利益	3	6 減 (67.9%減)	－	1 減 (100.0%減)	2	1 増 (258.5%増)	－	0 減 (100.0%減)
特別損失	138	67 減 (32.7%減)	110	7 増 (7.8%増)	22	70 減 (75.5%減)	4	3 増 (1,020.5%増)
契約者配当準備金繰入額（△戻入額）	220	11 増 (5.3%増)	119	10 増 (9.4%増)	101	0 増 (0.8%増)	△0	0 減 (100.3%増)
税引前四半期純利益（△損失）	534	32 増 (6.4%増)	271	69 増 (34.7%増)	337	14 増 (4.6%増)	△86	42 減 (95.6%増)
法人税等合計	411	224 増 (120.6%増)	182	129 増 (248.9%増)	231	96 増 (71.3%増)	△10	1 増 (10.9%減)
四半期純利益（△損失）	121	192 減 (61.3%減)	89	60 減 (40.3%減)	105	81 減 (43.6%減)	△75	43 減 (135.7%増)

（参考）

資産運用関係収支（一般勘定）	1,685	45 減 (2.7%減)	1,040	45 増 (4.5%増)	489	153 減 (23.9%減)	167	59 増 (54.7%増)
法人税率引き下げに伴う四半期純利益(損失)の影響額	△224	－	△95	－	△110	－	△16	－

（注）１．Ｔ＆Ｄホールディングス連結の数値については、生命保険会社３社の単純合算とは必ずしも一致いたしません。
２．保険料等収入の３社単純合算は１兆2,527億円（前年同期比15.9%増）です。
３．資産運用関係収支（一般勘定）は、一般勘定に関する資産運用収益から一般勘定に関する資産運用費用を差し引いたものです。

■　Ｔ＆Ｄホールディングス連結

・**経常収益**は、１兆５，７８２億円、前年同期から４３０億円の増加。
・**経常利益**は、８９０億円、前年同期から１７億円の減少。
これは主に、基礎利益は増加したものの、資産運用費用のうち有価証券売却損や有価証券評価損などのキャピタル費用が増加したため。
・**四半期純利益**は、１２１億円、前年同期から１９２億円の減少。
これは主に、法人税率引下げに伴い、繰延税金資産の取り崩しが発生したため。
四半期純利益への影響額は２２４億円。

■　太陽生命の状況

・**経常収益**は、８，４０７億円、前年同期から２１.９％の増加。
・**保険料等収入**は、６，７８５億円、前年同期から３１.１％の増加。
これは主に、個人保険・個人年金保険の収入保険料が増加したため。
・**経常利益**は、５０１億円、前年同期から２１.７％の増加。
これは主に、資産運用収益が増加したこと、および東日本大震災に係る支払見積額が減少したため。
・**四半期純利益**は、８９億円、前年同期から４０.３％の減少。
これは主に、法人税率引下げに伴う影響９５億円があったため。

■　大同生命の状況

・**経常収益**は、７，３４３億円、前年同期から１．２％の減少。
・**保険料等収入**は、５，３７３億円、前年同期から若干の増加。
・**経常利益**は、４５８億円と前年同期から１１．０％の減少。
これは主に、資産運用費用のうち有価証券売却損や有価証券評価損などのキャピタル費用が増加し、一般勘定資産運用収支が減少したため。
・**四半期純利益**は、１０５億円、前年同期から４３．６％の減少。
これは主に、法人税率引下げに伴う影響１１０億円があったため。

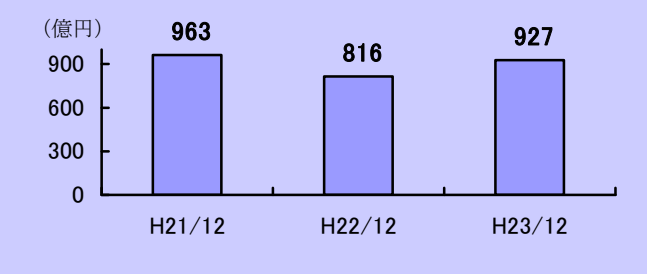
■　Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の状況

・**経常収益**は、１，０６６億円、前年同期から１９．４％の増加。
・**保険料等収入**は、３６７億円、前年同期から３７．５％の増加。
・**経常利益（△損失）**は、△８２億円、前年同期から８７．９％の悪化。
これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金の繰入額が増加したため。
・**四半期純利益（△損失）**は、△７５億円、前年同期から１３５．７％の悪化。
このうち法人税率引き下げに伴う影響額は１６億円。

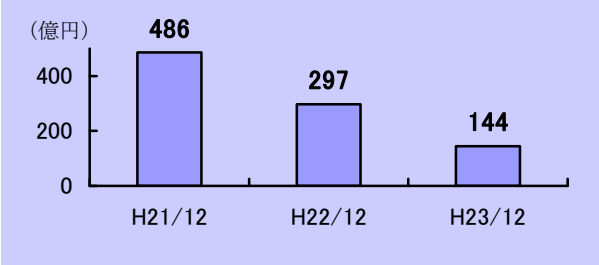
［その他の指標等］

＜基礎利益と逆ざや＞

○基礎利益（３社単純合算）



○逆ざや額（３社単純合算）



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比	当第３四半期累計	前年同期比
基礎利益	927	110 増 (13.6%増)	415	48 増 (13.3%増)	671	157 増 (30.7%増)	△159	95 減 (149.1%増)
逆ざや額	144	152 減	68	21 減	54	127 減	21	2 減

■　３社単純合算

・**基礎利益**は、９２７億円、前年同期から１１０億円の増加。
これは主に、太陽生命と大同生命で増加したため。

■　各社の状況

・**太陽生命の基礎利益**は、４１５億円、前年同期から４８億円の増加。
逆ざや額は、６８億円、前年同期から２１億円の改善。
これは主に、利息及び配当金等収入の増加などの基礎利益上の運用収支が増加したこと、および予定利息負担が減少したため。

・**大同生命の基礎利益**は、６７１億円、前年同期から１５７億円の増加。
逆ざや額は、５４億円、前年同期から１２７億円の改善。
これは主に、基礎利益上の運用収支が増加したこと、および予定利息負担が減少したため。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の基礎利益**は、△１５９億円、前年同期から９５億円の悪化。
これは主に、相場変動に伴い変額個人年金保険の最低保証責任準備金の繰入額が増加したため。
逆ざや額は、２１億円、前年同期から２億円の改善。

＜ソルベンシー・マージン比率＞

	太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第３四半期末	前年度末 比較増減	当第３四半期末	前年度末 比較増減	当第３四半期末	前年度末 比較増減
ソルベンシー・マージン比率	1,207.1%	22.6ポイント低下	1,282.2%	45.0ポイント上昇	555.6%	55.6ポイント低下
(参考)新基準による ソルベンシー・マージン比率 ※	691.4%	20.6ポイント上昇	773.5%	52.9ポイント上昇	502.0%	69.1ポイント低下

※平成 24 年３月期より導入される新基準に基づくソルベンシー・マージン比率

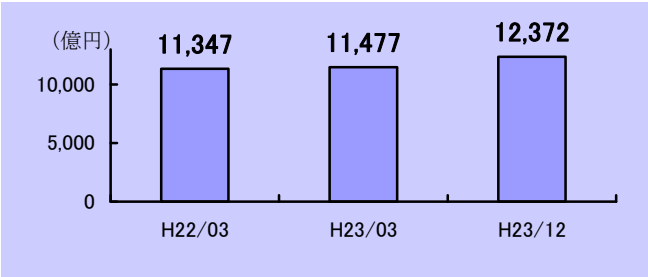
■　各社の状況

・**太陽生命のソルベンシー・マージン比率**は、１，２０７.１％、前年度末から２２.６ポイント低下。
これは主に、資産運用リスク相当額が増加したことによる。

・**大同生命のソルベンシー・マージン比率**は、１，２８２.２％、前年度末から４５.０ポイント上昇。
これは主に、リスク削減の推進等により資産運用リスク相当額が減少したため。

・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命のソルベンシー・マージン比率**は、５５５.６％、前年度末から５５.６ポイント低下。
これは主に、相場変動によりソルベンシー・マージン総額が減少したため。

＜実質純資産（３社単純合算）＞



（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命	
	当第３四半期末	前年度末比較増減	当第３四半期末	前年度末比較増減	当第３四半期末	前年度末比較増減	当第３四半期末	前年度末比較増減
実質純資産	12,372	894 増	5,418	882 増	6,040	5 増	912	5 増

（注）ＥＶ計算上の修正純資産は、グループが 9,577 億円（前年度末比 963 億円増）、太陽生命が 4,519 億円（同 777 億円増）、大同生命が 4,443 億円（同 169 億円増）、Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命が 614 億円（同 16 億円増）です。

■　３社単純合計

・**実質純資産**は、１兆２，３７２億円と、前年度末から８９４億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益の増加による。

■　各社の状況

・**太陽生命の実質純資産**は、５，４１８億円、前年度末から８８２億円の増加。
これは主に、有価証券の差損益の増加および価格変動準備金の積み上げによる。
・**大同生命の実質純資産**は、６，０４０億円、前年度末から５億円の増加。
・**Ｔ＆Ｄフィナンシャル生命の実質純資産**は、９１２億円、前年度末から５億円の増加。

＜有価証券差損益（一般勘定）＞

（単位：億円）

	３社単純合算		太陽生命		大同生命		T&Dフィナンシャル生命	
	当第３四半期末	前年度末比較増減	当第３四半期末	前年度末比較増減	当第３四半期末	前年度末比較増減	当第３四半期末	前年度末比較増減
有価証券差損益（一般勘定）	3,134	987 増	2,176	819 増	844	105 増	113	62 増
うち公社債	2,396	1,293 増	1,423	814 増	860	416 増	112	62 増
うち株式	482	737 減	305	573 減	177	163 減	－	－
うち外国証券	364	550 増	384	561 増	△20	11 減	－	－
うちその他の証券	△249	174 減	△5	8 減	△244	165 減	0	0 減
うち金銭の信託	△6	5 減	－	－	△6	5 減	－	－
うち買入金銭債権	147	60 増	68	25 増	79	34 増	－	－
土地等の差損益	198	5 増	21	5 増	176	0 増	－	－

（注）１．有価証券差損益については、有価証券のうち時価のあるものを記載しております。
２．土地等の差損益については、原則として鑑定評価額（重要性の低い物件等については公示価格等）をもとに算出しております。

〔平成２４年３月期通期業績予想〕

平成２４年１月３０日に、平成２３年５月１９日公表の平成２４年３月期通期業績予想を以下のとおり修正しております。

○Ｔ＆Ｄホールディングス連結

（単位：億円）

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	19,500	1,130	360
今回発表予想(B)	20,800	1,000	120
増減額(B－A)	1,300	△130	△240
増減率（%）	6.7	△11.5	△66.7

1株当たり年間配当金予想は22円50銭です。（平成23年10月1日付けで当社普通株式1株を2株に分割したことに伴い、配当予想金額は45円から2分の1である22円50銭としています。）

なお、上記の前提となる生命保険会社３社（単体）の平成２４年３月期の通期業績予想は次のとおりです。

（単位：億円）

	太陽生命	大同生命	T&D ﾌｨﾅﾝｼｬﾙ生命
経常収益	10,900 (2,000増)	9,300 (200増)	1,300 (－)
経常利益（△損失）	590 (20増)	490 (50減)	△90 (－)
当期純利益（△損失）	90 (70減)	110 (90減)	△80 (10減)

（注）括弧内は、前回発表予想（平成２３年１１月１７日公表）からの増減額です。

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記業績予想と大きく異なることがあります。

以　上

（参考）生命保険会社３社の平成２４年３月期通期見通し

平成２４年１月３０日公表の通期業績予想の修正に伴い、平成２４年３月期通期見通しの変更を行なっております。

（単位：億円）

	３社単純合算	太陽生命	大同生命	T&Dフィナンシャル生命
基礎利益	1,130 (40 増)	550 (－)	710 (40 増)	△130 (－)
保険料等収入	16,600 (1,700 増)	8,800 (1,600 増)	7,200 (100 増)	600 (－)
逆ざや額	270 (130 増)	80 (40 増)	160 (90 増)	30 (－)
新契約高	63,600 (2,900 減)	29,500 (－)	※ 33,600 (2,900 減)	500 (－)
保有契約高	584,000 (200 増)	203,100 (－)	※ 361,500 (200 増)	19,400 (－)
解約失効率（%）		6.3 (－)	8.1 (0.8 ポイント低下)	3.9 (0.2 ポイント上昇)

（注）１.括弧内は平成 23 年 11 月 17 日公表の通期見通しからの増減額です。
２.新契約高、保有契約高、および解約失効率は、個人保険と個人年金保険の合計です。
また、新契約高には転換による純増加高を含みます。

※大同生命に関して、「無配当重大疾病保障保険（Ｊタイプ）」の重大疾病保険金額を加算した契約高の金額は、次の見通しです。（「Ｊタイプ」には普通死亡の保障がないため、上記の契約高には計上していません。）
・新契約高　：３兆 6,400 億円
・保有契約高：36 兆 5,100 億円

※実際の業績は、今後様々な要因によって、上記見通しと大きく異なることがあります。

以　上